

決定!! 2021年本屋大賞

全国書店員が選んだ
いちばん!
売りたい本



2021年本屋大賞

大賞

『52ヘルツのクジラたち』

町田 そのこ(中央公論新社)

2位

『お探し物は図書室まで』

青山 美智子(ポプラ社)

3位

『犬がいた季節』

伊吹 有喜(双葉社)

4位

『逆ソクラテス』

伊坂 幸太郎(集英社)

5位

『自転しながら公転する』

山本 文緒(新潮社)

6位

『八月の銀の雪』

伊与原 新(新潮社)

7位

『滅びの前のシャングリラ』

凧良 ゆう(中央公論新社)

8位

『オルタネート』

加藤シゲアキ(新潮社)

9位

『推し、燃ゆ』

宇佐見りん(河出書房新社)

10位

『この本を盗む者は』

深緑 野分(KADOKAWA)

全国書店員の投票で選ばれたベスト10 2019年12月~2020年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

Supported by

NOLTY® PAGEM

手帳ブランドNOLTY/PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。